

～ 東日本大震災の被災地の中高校生と被災地支援を考える ～ 『被災地の子どもたちとの交流会』を開催

日時：1月10日(土) 16:00～18:00

会場：コープみらいプラザ新中野(東京都中野区中央 5-6-2)

コープみらい(本部：埼玉県さいたま市、理事長：田井 修司、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都)は、東日本大震災で被災した中高生が集う自習室「山田町ゾンタハウス※」(岩手県山田町)への支援活動の一環として、1月10日(土)16時より、岩手、宮城、福島のカ被災地域に住む中高生を招き、東京の中高生を交えた『被災地の子どもたちとの交流会』をコープみらいプラザ新中野(東京都中野区)で開催します。

東日本大震災から約4年が経過し、復興計画の進行に伴い被災地の子どもたちを取り巻く環境や暮らしには大きな変化が生じています。コープみらいでは、子どもたちに対するよりきめ細やかな支援が求められている状況を踏まえ、被災地の子どもたちの“今の声”を聞き、交流を通して今後取り組むべき支援について話し合える場を目的に交流会を開催します。

交流会では、岩手、宮城、福島に住む中高生と東京の中高生がグループで近況を報告し合い、ゲームを楽しんだりコープ商品の試食を行うなど交流を深めます。



昨年度の交流会の様子

※「山田町ゾンタハウス」…明日を担う子どもたちのための自習室として、NPO法人「こども福祉研究所」が、2011年9月、岩手県山田町に開設。東日本大震災で被災した中高生が集い、勉強し、軽食を食べてリラックスできる居場所となることを目的に運営されています。コープみらいは開設から支援を続けています。

●『被災地の子どもたちとの交流会』概要

開催日時：1月10日(土) 16:00～18:00

会場：コープみらいプラザ新中野 2F(東京都中野区中央 5-6-2)

※東京メトロ丸の内線「新中野」下車、杉山公園交差点北出口より徒歩3分

参加者：岩手、宮城、福島、東京の中高生(30名)

森田 明美(NPO法人こども福祉研究所 代表、東洋大学社会学部社会福祉学科 教授)、
東洋大学 学生、コープみらい組合員理事 他

※岩手、宮城、福島に住む中高生は1月11日(日)、東洋大学で開催されるセミナー「子どもたちと一緒に考える被災地の復興支援」に発言者として出席する予定です。

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【理事長】田井 修司(たい しゅうじ)

【組合員数】313万人(2014年12月20日現在)

【総事業高】3,629億円(2013年度)

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>